時は過ぎ去っていく、
ただ静かに

『ヴァンダの部屋』『コロッサル・ユース』でリスボンの捨てられた街の人々を見つめた、
ポルトガルの鬼才ペドロ・コスタの新たな傑作が誕生した ペドロ・コスタ最新作

ホース・マネー

CAVALO DINHEIRO

燃えたぎる人生——
異国の地で翻弄された
ひとりの男
その魂は夜に解き放たれた

（2015年 山形国際ドキュメンタリー映画祭 大賞）
（2014年 ロカルノ国際映画祭 最優秀監督賞）

www.cinematrix.jp/HorseMoney/

配給:シネマトリックス

ほぼ完璧といえる構図、照明、美術が作品にもたらしかねぬ抽象性を、あらゆる生きた被写体が、そのつどまがまがしい具体性へと転化せしめるサスペンス。ペドロ・コスタ監督の最大の野心作は、その野心を超えて、21世紀にふさわしい真の傑作へと昇華する。

蓮實重彦——映画評論家

ペドロ・コスタの映画はよく見ている。彼は特別な才能を持つ監督だ。

マノエル・ド・オリヴェイラ——映画監督／『アンジェリカの微笑み』

一人の移民が記憶の迷路をさまようとき、暗い壁にはすべての移動せざるをえない者たちの苦難の影が映し出される。ペドロ・コスタの幻視力は身震いするほど現実的だ。

小野正嗣——作家

ポルトガルの激動の過去と不透明な未来を脳裏に焼き付ける。忘れがたく美しい作品だ。

ヴァラエティ誌

人生の記憶が
映し出す白日夢
まるで
迷宮のように

この街には移民たちの故郷を想う唄が流れている

世界中の映画祭で絶賛され，「サイト＆サウンド」や「フィルムコメント」など名だたる映画誌でも2015年のベストの一本として選出された，ペドロ・コスタ監督の最新作『ホース・マネー』が満を持していよいよ日本でも公開される。

『ヴァンダの部屋』『コロッサル・ユース』に続き，リスボンのスラム、フォンタイーニャス地区にいた人々と創り上げ，主人公も『コロッサル・ユース』のヴェントゥーラ。ヴェントゥーラ自身のアフリカの島国カーボ・ヴェルデからの移民の体験をもとに，ポルトガルのカーネーション革命やアフリカ諸国の植民地支配からの独立という激動の近代史を背景に展開する。そのポルトガルに暮らすアフリカからの移民の苦難の歴史と記憶を，ひとりの男の人生の終焉とともに虚実入り混じった斬新な手法で描き出す。マノエル・ド・オリヴェイラ，アキ・カウリスマキ，ビクトル・エリセら巨匠と共にペドロ・コスタが参加したオムニバス作品『ポルトガル、ここに誕生す～ギマランイス歴史地区』の一篇『スウィート・エクソシスト』の一部が大胆に組み込まれていることも見逃せない。

どこからか手紙が届いた。いまひとりの男の人生が終わろうとしている。彼はアフリカの小さな火山の島からやって来た。あれから何十年経ったのだろうか。いまは記憶も途切れ途切れだ。彼のもとに謎の女が現れた。故郷の島，カーボ・ヴェルデからの知らせを伝えるために。男は移民として日々の糧を稼ぐためにリスボンのスラムに暮らし、レンガ工場や工事現場で働いた。いまでも思い出すのは、故郷で飼っていた一頭の馬（ホース・マネー）と故郷に残してきた妻の記憶だった…。男は現在と過去の迷宮へ足を踏み入れていく。

ホース・マネー

2015年 山形国際ドキュメンタリー映画祭 大賞　2014年 ロカルノ国際映画祭 最優秀監督賞　www.cinematrix.jp/HorseMoney/

監督：ペドロ・コスタ『ヴァンダの部屋』『コロッサル・ユース』　出演：ヴェントゥーラ，ヴィタリナ・ヴァレラ，ティト・フルタド，アントニオ・サントス

ポルトガル　2014年　ポルトガル語・クレオール語　DCP　104分　英題：Horse Money　原題：Cavalo Dinheiro　配給：シネマトリックス

6月18日㊏“息をのむ”ロードショー!!

特別鑑賞券¥1400(税込)**絶賛発売中！**（当日：一般¥1800、学生¥1400のところ）

★劇場窓口でお買い求めの方に、3枚組特製ドローイング ポストカードをプレゼント（限定数）

『ホース・マネー』上映期間中にペドロ・コスタの過去作『ヴァンダの部屋』『コロッサル・ユース』などを35mmフィルムで上映予定!!

ユーロスペース
EUROSPACE
渋谷文化村前交差点左折
03-3461-0211｜www.eurospace.co.jp